

**令和3年度青森市指定管理者選定評価委員会 会議概要**  
**(「指定管理者候補者選定」に係る審査)**

1 開催日時 令和3年10月8日(金) 13:20~14:50

2 開催場所 青森市福祉増進センター(しあわせプラザ) 2階 研修室

3 対象施設 青森市森林博物館

4 出席者

(1) 選定評価委員	委員長	館山 公 (企画部次長)
	副委員長	佐藤 秀彦 (総務部次長)
	委員	松本 大吾 (青森大学准教授)
	委員	西村 晴夫 (東北税理士会青森支部税理士)
	委員	三浦 裕子 (福祉部次長)
	委員	奈良 英文 (経済部次長)
	委員	小笠原 聡 (浪岡振興部次長)

(2) 施設所管課(文化財課)	課長	葛西 俊一
	主幹	児玉 大成
	主査	工藤 洋樹

(3) 制度所管課(財政課)	主幹	宮崎 恭次
	主査	盛 将秀
	主査	吉田 敏和

5 案件 「指定管理者候補者選定」に係る審査

6 審査結果

(1) 指定管理者候補者

- ・名称 青森県森林組合連合会
- ・住所 青森市松原一丁目16番25号
- ・代表者 代表理事会長 本間 家大

(2) 指定期間

令和4年4月1日からの5年間

### (3) 選定理由

- ・応募資格を満たしていること。
- ・「応募団体について」を除いた点数（114.30点）が最低得点（92点）以上を獲得していること。
- ・「応募団体について」及び「効率性について」を除いた場合に、普通とした点数及び「財務の健全性」の配点の50%の点数の合計（77点）以上の点数（92.15点）を獲得していること。

## 7 主な質疑応答

### 【地域や関係団体との連携】

(委員)

町内会との関わりが深いとのことだが、どのような内容か。

(応募団体)

森林博物館のある沖館地域には、営林局OBのかたが多く住んでおり、交流を通じて助言等をいただいている。

### 【職員等の配置計画】

(委員)

応募団体が県から指定管理業務を受託している、白神山地ビジターセンター及び青森県立自然ふれあいセンターは、森林博物館と似た性質の施設に思われるが、森林に関する専門性を備えた職員が多いのではないか。

(施設所管課)

そのとおりである。

### 【環境保全、負荷軽減への取組】

(委員)

事業計画書の提案では「照明器具のLED化等の積極的な導入」と記載されているが、LED化は現在どれくらい進んでいるのか。

(応募団体)

7室ある展示室の照明器具はLED化がほぼ終わっており、一部物置などLED化していない部屋がある。

### 【福祉に関する取組】

(委員)

事業計画書の提案では、障がい者の雇用に関して「予算的な面も含め現状の体制では難しい」と記載されているが、具体的にはどのような内容か。

(応募団体)

職員は、山歩きを伴う自然観察会など、博物館の外での業務にも従事する必要があることから、(追加で)障がい者を雇用することは難しい状況にある。

(委員)

車椅子で来館する場合、事前申込はできるのか。

(応募団体)

障がい者に対する観覧料の減免制度があるため、事前に申込みいただいている。

### 【利用者等の要望等の把握と反映方法】

(委員)

アンケートでは、寒さや暑さについての要望が多いとのことだが、空調を入れないのは、古い建物を残すためにつけられないのか、単なる費用削減なのか。

(施設所管課)

空調を設置していないのは、この建物が指定文化財となっているためである。

(委員)

展示物について、気温や湿度による影響はないのか。

(施設所管課)

動物のはく製などは、湿度に弱くカビが生える可能性があるため、市で適宜除菌作業を行っている。

### 【来館者を増加させるためのPR及びイベントの実施計画又は自主事業】

(委員)

来年度から利用料金制が導入されるが、現時点での具体的な考えや計画はあるか。

(応募団体)

利用者を拡大していくための取組として、若い人から高齢者に至るまで興味を引く取組を検討していきたい。

(委員)

SNSは若い人がよく使うので、活用の仕方次第では有効になると思う。工夫すれば利用料金制とあいまって入館者が増えると感じている。

(応募団体)

これまで、自然・植物に関心のある方々を対象にした記事が多かったが、今後は、もっと幅広い方々に見てもらえるよう検討していきたい。

(委員)

提案額の利用料金収入は、過去3年間の実績に基づいた金額となっているが、観覧者を増やすために、何か考えていることがあるのか。

(応募団体)

有料入館者を増やすために、外部企業の優待制度と連携し、施設利用者に記念品を提供する取組のほか、今までは植物や自然の写真展を中心とした企画展等を開催してきたが、切り口を変えた取組により多くの入館者を集めたい。